

第 3 1 3 回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 4月27日(土) 1500m 10000m

4月28日(日) 5000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 親崎 達朗 小林 航央 関口 大樹 坪井 響己

出場種目・出場者・リザルト

氏名	小 林	坪 井	関 口	親 崎	小 林
種目	1500m	10000m	5000m	5000m	5000m
組	7 組目	7 組目	11 組目	12 組目	16 組目
タイム	3'47"47	30'40"84	14'50"32	14'35"40	14'22"79
順位	4/18	28/36	19/37	15/38	25/33

【レポート】

GW に入り、各地でトラックレースが開催され、陸上界も賑わいを見せている中、当社も 4 名の選手が日本体育大学長距離記録会に出場しました。

まず、初日に行われた 1500m では小林が日本選手権参加標準切り(3 分 45 秒)を目標としてレースに臨みましたが、シーズンベストとなる 3 分 47 秒台をマークする好走をみせたものの、目標には僅かに届かず、次戦の東日本実業団陸上競技選手権大会で再チャレンジして日本選手権の出場権を手にしてくれることを期待します。

同日の 10000m に出場した坪井も 2 週間前に 5000m で入社後ベスト(14'11")を更新し、好調を維持している中で 28 分台を目指してレースに臨みましたが、5000m までは 28 分台が狙えるペースで余裕を持って走っていたものの、6000m に脇腹に差し込みが生じると、痛みからペースを大幅に落とし、悔しさが残る 30 分 40 秒台でのゴールとなりました。

練習では良い走りが出てきているので、次のレースでは、今回の課題をクリアして結果に結びつけて欲しいと思います。



1500m のスタート前に集中力を高める小林



積極的に先頭集団のペースでレースを進める小林



28 分台を目標に前半は落ち着いた走りを見せた坪井



終盤は脇腹の痛みと戦いながらレースを進める坪井

翌日は 5000m に 4 名の選手が出場し、11 組目を走った関口は 3000m まではしっかりと集団のペースに食らいつき、目標とする 14 分 45 秒切りを目指して走りましたが、僅かに目標には届かず、14 分 50 秒台でのゴールとなりました。

12 組目には親崎、坪井の 2 名が出場し、坪井は昨日のレースで生じた脇腹の差し込みの痛みが残ってしまい 3000m でレースを棄権することとなりました。

親崎は冷静に集団の中でレースを進め、最後まで軽快なピッチは衰えず、14 分 35 秒台でのゴールとなりました。

更に、前日の 1500m で好走を見せた小林は約一年振りとなる 5000m のレースに出場し、13 分台が狙えるペースでレースを進めたものの、3000m 過ぎに先頭集団から離れ、以降は単独でペースを刻むこととなり、それでも力強いフォームで中盤以降の落ち込みを最低限に留め、14 分 22 秒台でのゴールとなりました。



前回のレースからは成長を見せた関口



東京マラソン以来のレースながら、しっかりと結果を出した親崎



前日の 1500m に続き 5000m でも力走を見せた小林

次戦は埼玉県熊谷市で行われる東日本実業団陸上競技選手権大会となりますが、今回のような記録会ではなく、着順を狙う公式戦となりますので、東日本実業団連盟に所属する強豪実業団チームの選手に一人でも多く競り勝てるよう、日々のトレーニングに邁進して参ります。

引き続き、皆さまの温かいご声援をよろしくお願いいたします。

以 上